

今号の主な見出し

- ・1面 連載 防災対策 第1回「生き延びる」
- ・2～4面 町会・自治会紹介
- ・4面 協議会活動報告

連載 「災害時、生き残るための防災対策」

地震などの災害が起きたときに備えて、私たちはどのような対策をとればよいのでしょうか。

本号から「生き延びる」「助け合う」「備蓄する」という3回のテーマに分けて、生き残るための防災対策を考察します。



第1回 「生き延びる」



「地震・雷・火事・親父」と言う言葉、世の中の恐ろしいもの、敵わないものを順に並べた表現と言われています。地震や雷などの天災は、人間の力ではどうにもできないものです。また、「地震・雷・火事・親父」は「地震・雷・火事・大山嵐（おおやまじ）」だったのではないかとという説もあるようで、大山嵐とは台風のこと、これも人間の力ではどうにもできないものの一つです。大風（おおやじ）とも言われ、発音が少し似ていることに加えて、語呂の良さやユーモアの観点から、いつからか「おやじ」と読まれるようになったという説もあるようです。

いずれにせよ、予測がつかない地震が一番怖いもので、本年1月1日には能登半島地震が発生して甚大な被害をもたらしており、過去にも阪神・淡路大震災、東日本大震災など、地震と言えば大災害が頭をよぎります。

防災対策と言うと、非常食などの備蓄から取り掛かる場合が一般的ですが、備蓄品が必要になるのは、私たちが生存している場合です。

まずは、私たちが生き延びるために何をすれば良いかを考えてみましょう。

- ① 住宅の補強をする。
- ② 家具の固定、家具の配置の工夫、ガラス飛散防止フィルムを貼るなど、室内での怪我を防ぐ。
- ③ 消火器を備えておき、火災を発生させない。
- ④ ハザードマップ等を確認しておく。
- ⑤ 一時避難場所・避難所※、避難経路、避難方法を確認しておく。
- ⑥ 家族で安否確認の方法を決めておく。



これ以外にも、地震が起きた時のさまざまなシーンでの対処方法（身の守り方）が福生市のホームページ「防災」の「地震が起きたら」に掲載されています。ご一読ください。(QRコード⇒)



※一時避難場所……災害発生直後、火災などの二次災害から逃れるため一時的に避難する場所
避難所……自宅での生活が困難になってしまった場合、またこれから被害にあう危険性が大きい場合などに一時的に避難生活を送るための場所

参考：Oggi「地震・雷・火事・親父」の意味や語源とは？もとは「親父」ではなかった？
マイベストプロ「過去の震災から学ぶ災害時生き残るための防災対策」

3つのテーマから町会・自治会の活動を紹介します

支えあい

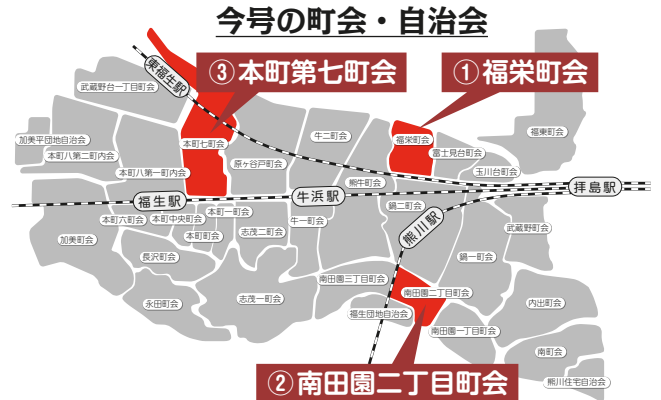
- ◆安全・安心を支える活動
(防犯パトロール、防災訓練など)
- ◆子どもたちの健全育成に取り組む活動
(あいさつ運動、声かけ運動など)
- ◆まちを美しくする活動
(町内清掃、花いっぱい運動など)

うるおい

- ◆地域住民の健康づくりを進める活動
(運動会、ラジオ体操など)
- ◆福祉に関する活動 (敬老会、募金活動など)

にぎわい

- ◆イベント活動
(夏祭り、盆踊り、もちつき大会など)



子どもたちも笑顔があふれていました。また、流しそうめんでは、流れてきたそうめん、みかん等を子供た

り、「わっしょい、わっしょい」と大人も子供も笑顔があふれていました。また、流しそうめんでは、流れてきたそうめん、みかん等を子供た

り、「わっしょい、わっしょい」と大人も子供も笑顔があふれていました。また、流れてきたそうめん、みかん等を子供た

り、「わっしょい、わっしょい」と大人も子供も笑顔があふれていました。また、流れてきたそうめん、みかん等を子供た

り、「わっしょい、わっしょい」と大人も子供も笑顔があふれていました。また、流れてきたそうめん、みかん等を子供た

にぎわい

笑顔あふれる夏祭り

① 福栄町会
会長 山田 暁

当初は、開催について役員、幹事



涼しげな浴衣姿でボールすくい



規模縮小でも大盛況の夏祭り会場

を地域の皆様と共に開催したいと思



大歓声の流しそうめん争奪戦



威勢のいい掛け声と笑顔で運び子供神輿



長年の努力を称える感謝状の贈呈

南田園地区には四つの町会・自治会・南田園一、二、三丁目、福生団地があります。ハザードマップに示されているとおり市内で最も水に弱い地域であり、町会・自治会活動では長年にわたり諸先輩たちが自主防災活動の中で大雨、台風時の多摩川増水・洪水を意識して取り組んできました。

毎年実施の地域防災訓練・四地区合同水・防災訓練は令和5年12月に行った開催で26回となりました。お

支えあい

災害時 みんなを 守る地域の輪

② 南田園二丁目町会

会長 撰梅 敏夫

陰様でこの長年にわたる活動が評価され訓練時に東京消防庁防災部長より感謝状をいただきました。

またこの訓練には数年前から福生第三中学校の生徒が参加し地域住民の輪に入り訓練を通して交流があります。同校の取組みでは防災を通して地域との連携に努めており、将来この地域を担っていく生徒たちの成長が楽しみです。訓練では社会福祉協議会に協力いただき防災まち歩きを続けており、先ず地域を知ること住民の防災・減災意識が高まっています。

この寄稿では個々の各町会活動を紹介するものですが、あえて災害時に求められる『地域の輪』として南



将来が楽しみな中学生たちの参加

本町第七町会は、福生駅東口ロータリー・大聖病院から、八高線を越え国道16号・目白第二病院の奥までと、面積の広い町会です。

主な活動として、1月に餅つき大会、7月に盆踊り大会・夏祭り、春・秋の花植えなどの活動を行っています。また、町会資源回収を年10回行い、各種傘下団体の活動資金を補いつつ、それぞれの団体も活発に活動しております。

(4面につづく)

にぎわい・支えあい

地域を支え 盛り上げる

③ 本町第七町会

会長 鷲東 和美



防災まち歩きで消防水利もしっかり把握

田園地区の支えあいを紹介させていただきます。



夏祭り山車の演舞



植栽は皆で取り組む地域のデザイン



年の始めは、元気よくお餅つき

もっと知りたい！ 町会・自治会のこと

ホームページを 是非御覧ください！

福生市 町会長協議会 website



「ちいき」バック
ナンバーも掲載
しています。



災害炊き出し訓練で参加者に食料を配布

令和4年3月には災害炊き出し訓練を行いました。コロナ禍3年間は町会での活動のほとんどを行えませんでした。令和5年度より、ほとんどの行事を再開しております。今後も、町会を盛り上げる活動を行っていきたくと考えております。

成人の日に

記念品を贈呈



※撮影は成人式実行委員会の方々に御協力いただきました。



▲充電器

令和6年1月8日、福生市成人式に参加された対象の皆様は、町会長協議会から、災害時にも役に立つ乾電池式の充電器と町会・自治会を紹介するパンフレットをプレゼントしました。
私たち町会・自治会は、若い方々が、安心して活躍できる温かい地域を目指して、これからも日々の活動に取り組んでいきます。

コミュニティ

マネジメント

講演会に参加



令和6年2月3日(土)福生市主催の地域づくり講演会「コミュニティマネジメントの基本理論」がもくせい会館3階で開催され、町会・自治会からは、町会長協議会長をはじめ、各会長や関係者も多数参加しました。

NPO法人CRファクトリーのインストラクターが非営利組織の運営の難しさの要因や、運営における基本原則を解説。
グループワークでは、コミュニティの担い手の「お金以外の報酬」や、新たな担い手を巻き込むための「興味」「愛着」「主体」の流れについて考察し、参加者が抱く活動理念や悩みなどを共有するとともに、テーマに関する意見の交換が活発に行われました。

広告掲載スペース

町会・自治会はあなたを待っています！

町会・自治会は地域におけるコミュニティ形成の基礎として、重要な役割を担っています。町会・自治会の社会貢献活動や、もしものときの共助のために、あなたの力が必要です。

町会・自治会への加入方法は？

右下のQRコードを読み込み、表示された申込フォームから必要事項を入力し、送信してください。
後日、町会・自治会長より連絡があります。

【町会・自治会に関する問合せ先】

福生市役所 生活環境部 協働推進課

TEL：042-551-1590 (直通)



編集後記 連載企画「災害時、生き残るための防災対策」が始まりました。大切なことは、第一に「生き延びる」こと。周囲の人々を助けるためにも、まず自分の生命を守りましょう。次号もぜひご覧ください。

編集委員長 田村 宏彦
編集委員 細谷 満広・小川 肇
伊藤 弘大・鷲東 和美